



上下水道局

要求総額 90,302百万円

(対前年度 3.3%)

収益的収入 50,266 百万円

収益的支出 49,076 百万円

差引 1,190 百万円

単年度資金収支 ▲1,944 百万円

【令和4年度 予算要求の経営方針】

上下水道局では、令和3年3月に策定した「上下水道事業基本計画 2030（計画期間：令和3～12年度）」及び「上下水道事業中期経営計画 2025（計画期間：令和3～7年度）」に基づき、着実に事業を推進するとともに、経費節減や増収対策など、経営基盤の強化に努め、「お客さまに信頼される上下水道」を目指します。

具体的には、上下水道施設の長寿命化や改築・更新、災害対策などに取り組むとともに、本市の持つ高い上下水道技術を国内外で活用し、上下水道事業の発展的広域化や国際貢献の推進に取り組めます。

(単位：百万円)

	予算要求額		収益的収支			単年度 資金収支
		前年度比	収入	支出	差引	
水道事業	34,128	3.1%	20,013	19,667	346	▲1,396
水道用水供給事業	1,067	2.3%	904	821	83	73
上水道事業	35,195	3.0%	20,917	20,488	429	▲1,323
工業用水道事業	2,877	▲0.7%	2,000	1,722	278	▲99
下水道事業	52,230	3.8%	27,349	26,866	483	▲522

【令和4年度 予算要求の基本的な考え方】

●上下水道施設の強靱化

要求額 20,666百万円 (対前年度 +19.6%)

長期的な観点から施設規模や機能の最適化を図りながら、更新時期を迎える上下水道施設の長寿命化、改築・更新に取り組むとともに、豪雨や地震といった災害に強い上下水道施設の整備などを進め、市民の生活を守ります。

- ・上下水道施設の長寿命化と改築・更新
- ・豪雨対策の拡充・強化
- ・震災対策の拡充・強化
- ・危機管理体制の充実・強化
- ・水管橋の維持管理

●環境負荷の低減

要求額 1,652百万円 (対前年度 ▲13.9%)

水環境の向上や、資源の有効活用などによる環境負荷低減を推進します。

- ・合流式下水道の改善推進
- ・水質監視強化
- ・省エネルギーの推進

●国内外への貢献

要求額 1,372百万円 (対前年度 +6.2%)

北九州都市圏域の中核都市として、上下水道事業の発展的広域化や、SDGsの達成に寄与する国際貢献の取り組みを通じて、本市職員の技術力・実務能力の向上を図ります。

- ・多様な広域連携の推進
- ・外郭団体等との連携強化
- ・海外事業の展開

●DXの推進

要求額 54百万円

- ・スマートメーターの実証実験
- ・AIを活用した水道管劣化診断の導入調査
- ・口座振替インターネット手続きの導入 など

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和4年度に実施することが確定しているものではありません。